

あしたの詩あしたの詩



2013年

一般社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

詩人の詩



一般社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

2013年版

巻頭言

会長 里村 龍一

今年も、会員の皆さん方が力をそそぎ、一生懸命になった作品が三五七編となりました。

日頃、お互いに出会う機会は少ないですが、この詩謡集で、毎年会えることが何よりも嬉しいことです。

新人からベテランまでの会員が、それぞれの持ち味で、この一冊のために書き上げた詩謡集の姿は見事です。

多少、作品に出来・不出来はあるとしても、会員の作品に対する思い入れに優劣は無いです。それなのです。

作品の価値観は、求める人々の好みによって異なると思いますが、作品とメロディーの出会いに夢を求めるのも愉しいことです。

サトウハチロー初代会長の意志を引き継いで、作詩家協会は、この詩謡集を出し続けています。大変なことですが、誇りに思っています。

来年、再来年と、すばらしい成果の結実を祈ってやみません。

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・会长 里村龍一・・・・・・一

明日という名の港 ^{あした} ・・・・・・・・・・・・・・	藍 慶子・・・・・・・・	十八
北のおんなの母ごころ・・・・・・・・・・・・・・	相 原 利 夫・・・・・・・・	十九
恋の街角ふたりづれ・・・・・・・・・・・・・・	青 木 勇 一・・・・・・・・	二〇
新聞バトン・・・・・・・・・・・・・・	明 石 真 帆・・・・・・・・	二一
あなたからの約束・・・・・・・・・・・・・・	赤 坂 佳津子・・・・・・・・	二二
また逢いたいね・・・・・・・・・・・・・・	茜 まさお・・・・・・・・	二三
見つめないで・・・・・・・・・・・・・・	秋 篠 さと・・・・・・・・	二四
涙の季節めぐり・・・・・・・・・・・・・・	秋 原 みまき・・・・・・・・	二五
恋のあやまち・・・・・・・・・・・・・・	麻 こよみ・・・・・・・・	二六
あんたが通じゃんせ・・・・・・・・・・・・・・	麻 木 夢 子・・・・・・・・	二七
心の旅路 シルクロード・・・・・・・・・・・・・・	浅 倉 美智子・・・・・・・・	二八
草 ^{くさ} 朧 ^{おぼろ} ・・・・・・・・・・・・・・	麻 崎 恵・・・・・・・・	二九
ネオンの人魚姫・・・・・・・・・・・・・・	浅 野 淑 恵・・・・・・・・	三〇
吉野伝説・・・・・・・・・・・・・・	味 岡 正・・・・・・・・	三一
ひとひらひらり 隠れ宿・・・・・・・・・・・・・・	飛 鳥 美勇樹・・・・・・・・	三二
夢みて恋して・・・・・・・・・・・・・・	麻 生 あかり・・・・・・・・	三三
いたずら夜風・・・・・・・・・・・・・・	阿 部 則 夫・・・・・・・・	三四
さつまの心 ^{さくらじま} 桜島山・・・・・・・・・・・・・・	天 達 美代子・・・・・・・・	三五
枯れ尾花・・・・・・・・・・・・・・	雨 宮 英 子・・・・・・・・	三六
イワシ漁・・・・・・・・・・・・・・	新 井 榮・・・・・・・・	三七
あなたと一緒に・・・・・・・・・・・・・・	荒 川 利 夫・・・・・・・・	三八
サラリーマン哀歌・・・・・・・・・・・・・・	有 田 美智男・・・・・・・・	三九
越前恋唄・・・・・・・・・・・・・・	井 口 けいじ・・・・・・・・	四〇

おだやかな思いやり　　ゝ夢あかりゝ	生野　たかし	四一
泣き虫ごころ	生駒　かつゆき	四二
縁結び	イザワ　マサミ	四三
別れ門	石浦　　洸	四四
男の肩	石川　桃　瑠	四五
空　　蟬	石原　信　一	四六
あーおやじ	出原　敏　光	四七
美しき命	市川　武　志	四八
泣きぼくろ	一　森　さとし	四九
こころ酔わせて	伊　藤　あ　い	五〇
女のごろり唄	いとう　　彩	五一
トコトコ人生	伊　藤　彰　二	五二
流れ星	伊　東　ひろし	五三
居酒屋ゆかり	伊　能　絵　巻	五四
おみくじ煎餅（デュエット）	井　上　耕　作	五五
住居侵入	井　上　裕　允	五六
海に咲く花	井　上　ゆうき	五七
一匹オオカミ・ドン之歌	伊　武　トーマ	五八
命のグラス	入　来　英　一	五九
雪のれん	岩　白　かつこ	六〇
新宿摩天楼	磐　根　公太郎	六一
思　　川	岩　本　誠　二	六二
もういいのよ	鵜　水　いさお	六三
おさらば…おつ月さん	白　杵　慶　宗	六四
男の背中	海　原　　光	六五
経ヶ岬の灯台	梅　垣　政　之	六六
花曇りの空	宇　里　香　菜	六七

人恋桜……………	円理子……………	六八
津軽母温情……………	えんどう 要……………	六九
秋保旅情……………	えんどう 真実……………	七〇
お母さん……………	及川 莉代……………	七一
居酒屋、セレナーデ……………	大友 健……………	七二
天を仰いで……………	大前 裕子……………	七三
きさらぎの月……………	大山 詩央……………	七四
生きがい酒……………	岡 みゆき……………	七五
京都めぐり……………	小川 豊……………	七六
秋 風……………	奥 雪義……………	七七
うしろ影……………	小口 幸重……………	七八
愛散華……………	小倉 紅実……………	七九
麦わら帽子……………	小山内 圭……………	八〇
おんなの秋……………	おさべ あさ……………	八一
常連さん……………	織田 まり……………	八二
花街 忍び坂……………	音 綾……………	八三
俺とおまえ……………	小野 博文……………	八四
篝 火浜……………	小野寺 正悦……………	八五
夕顔と光源氏……………	尾曲 優子……………	八六
海の子守歌……………	甲斐 新……………	八七
貴男のハートに住みたいの……………	開 まこ……………	八八
五ヶ瀬大橋……………	加乙 梁……………	八九
バラの花が咲くように……………	格地 秀明……………	九〇
NITABOHその愛……………	KAKUYO……………	九一
金木犀……………	片桐 和子……………	九二
世界の山富士……………	勝田 守……………	九三
恋 港……………	加藤 けい子……………	九四

星のかなた……………	かとう	通流…………	九五
裏磐梯慕情……………	金井	ゆきお…………	九六
横浜砂簾……………	金谷	怜沙…………	九七
銀座八丁目の女将……………	金子	正明…………	九八
諏訪のおん柱……………	鎌田	勝…………	九九
浜苦菜……………	川	英雄…………	一〇〇
アリギリス……………	川井	春幸…………	一〇一
初恋百人一首……………	かわいだ	けんいち…………	一〇二
火の鳥……………	川上	恵子…………	一〇三
恋鏡……………	川上	左池子…………	一〇四
昭和の繰り言……………	かわじ	ひろみ…………	一〇五
バラ苑にて……………	河添	流…………	一〇六
刹那の風　ゝまろびのかぜ……………	神崎	陽一…………	一〇七
淡雪の恋……………	神田	まさひこ…………	一〇八
憶えていてくれますか……………	芳	三知余…………	一〇九
着たきりすずめ……………	岸川	美好…………	一一〇
秋曆……………	岸田	のぶや…………	一一一
湯の町情話……………	北川	たかし…………	一二二
月見草の宿……………	喜多條	忠…………	一二三
落葉……………	北村	けいこ…………	一二四
奥入瀬ふたたび……………	木村	賢司…………	一二五
横浜マリ……………	京	明…………	一二六
八重の桜　―川崎尚之助―……………	京	光恵…………	一二七
ラヴィ・アン・ローズをもう一度……………	霧野	ゆう…………	一二八
頑張らないで……………	久仁	京介…………	一二九
酔いどれ将棋……………	くに	多樹夫…………	一二〇
案山子……………	國枝	星志…………	一二一

愛って愛って何でしょう……………	国武浩之……………	一二三
いいかげんに……………	久保田啓子……………	一二三
早春——復興の祈り——……………	熊たけし……………	一二四
男の旅路……………	倉藤有道……………	一二五
母なれば……………	栗原保夫……………	一二六
娘・魚河岸三代目……………	黒皮羽生……………	一二七
しのぶ橋……………	黒川良人……………	一二八
紫陽花ロード……………	黒崎慶子……………	一二九
ワンダフル ソング……………	桑原 ほうめい……………	一三〇
お前と言う名の花……………	K・Mat sue……………	一三一
岩室ブルース……………	高坂 のぼる……………	一三二
夢 話……………	小 串 波 夫……………	一三三
濃紫 いんむらさき の女……………	こじま かずみ……………	一三四
さすらい人……………	小 嶋 高 志……………	一三五
人生街道……………	小 宮 正 人……………	一三六
八番目の曜日……………	近 藤 英 子……………	一三七
別れてあげる……………	紺 野 あずさ……………	一三八
三文小説家……………	さい さ く……………	一三九
男 おとこ が生 い きる道……………	斉 藤 清 人……………	一四〇
空の上の国 少年の世界の緊急事態 ……………	斉 藤 久美子……………	一四一
北 路……………	さいとう 大三……………	一四二
流浪酒……………	齋 藤 力……………	一四三
薄 墨 桜……………	斉 藤 葉 月……………	一四四
去りゆく春……………	斉 藤 向 恵……………	一四五
城崎湯情……………	五月女 正 人……………	一四六
夫婦 ふうふ うた……………	坂 口 照 幸……………	一四七
笑い話 わかしな にしておいて……………	坂 本 寿美子……………	一四八

人生おんな川 じんせい いのち （命はてるまで）	坂本 ひろし	一四九
土佐の船唄	作間 大輔	一五〇
菜種梅雨	桜 此のみ	一五一
花の願い	佐倉 陽子	一五二
葉山幻影 はやまげんえい	櫻井 馨	一五三
待ち惚け　　ゝ冬の恋	佐々木 ひさこ	一五四
俺と酒 さけ	笹森 とおる	一五五
女の土俵	佐渡 ミユキ	一五六
みちのく詩人 しじん	佐東 たどる	一五七
わすれ草	里村 龍一	一五八
歌は心のタイムマシーン	佐野 源左衛門一文	一五九
冬ざれの恋 こい	沙 夜 濤	一六〇
安曇野恋唄 あづみのこいうた	沢 利明	一六一
恋　　螢	澤 ひろし	一六二
麒麟	山 吾 充六	一六三
夢よ咲け	山 藤 せい子	一六四
男の涙	紫 香 賢治	一六五
数寄屋橋から	しば ともなり	一六六
遙かなる口力岬	寫 馨子 せう こと	一六七
貧乏 いいじゃん	嶋 八 郎	一六八
ほおずき酒場	下 野 登美子	一六九
燕尾服	白 石 明 仁	一七〇
鳴門海峡 旅の宿	白 川 千 恵	一七一
男の涙坂	城 山 正 志	一七二
あなたさがして	吹 田 晴 也	一七三
ワンダーチャイルド	菅 野 政 義	一七四
東京オアシスロード	杉 江 明 子	一七五

迷い川	助田 ひさお	一七六
君影草	鈴木 紀代	一七七
ごめんなさいね	鈴木 さとし	一七八
ふたたびの桜 美しく	鈴木 はるか	一七九
タンポポいっぱいいの かなしみ	鈴木 宗敏	一八〇
卒寿の母の一人言	鈴木 康正	一八一
鏡よ、鏡	須田 厚子	一八二
めぐり逢い長崎	春原 茂幸	一八三
千本桜	関 東西	一八四
お酒は爛が恋い薬	瀬端 健二郎	一八五
応援歌	せん けいこ	一八六
お父さん	曾我 幸義	一八七
母	田浦 泰	一八八
ひと息の瞬間	高木 葵	一八九
人生七転び八起き	高城 のぼる	一九〇
いいんじゃない	高田 戸雷	一九一
富士燦々 さんさん	高塚 和美	一九二
みぞれ雨	高橋 耕作	一九三
笑顔さざんか	高橋 敏夫	一九四
あの人の影になつて	高畑 和之	一九五
雨のしのび逢い	高畠 じゅん子	一九六
あいにゅうあゆみやま 哀愁歩崎	滝 信太郎	一九七
ゆうすげの恋	瀧 竜昇	一九八
ふられ雨	多岐川 大介	一九九
めぐり逢いたい	たきの えいじ	二〇〇
かあさん	たく わん	二〇一
この子たち	田沢 庄笹	二〇二

よもぎ饅頭	田島隆夫	二〇三
天空の夢	建石 一	二〇四
鈴虫の鳴く夜	田中 いぶき	二〇五
花魁道中(花の意図)	田中 克昌	二〇六
やまとだま	田中 しゅうじ	二〇七
演歌ぶし	田中 なるみ	二〇八
真夜中の太陽	たなか ゆきを	二〇九
必然の別れ	棚波 詞雄	二一〇
16歳の恋(そして2020年へ)	谷口 文彦	二一一
ごめんね東京	たにはら 伸	二一二
人生坂	多野 亮	二一三
なさけ雨	玉城 徳丸	二一四
妻ありてこそ	玉利 要	二一五
ある巡り愛	田村 忠雄	二一六
千羽鶴	千草 三紀	二一七
男のブルース	辻 正司	二一八
蛍	つじ 伸一	二一九
泡立草	津田 雅道	二二〇
ああ:人生一度	つわの 光路	二二一
仁淀川・蛍火慕情	出口 タツ香	二二二
しあわせ桜	手 嶋 義文	二二三
哀しみのアクトレス	寺 島 幸生	二二四
夢みることにリスクはナイ	天 川 聖子	二二五
大間の男節	天 馬 良	二二六
ひとり遊び	戸 川 智砂子	二二七
南紀の火祭り	時 女 礼子	二二八
さだめと生きる	徳 田 啓	二二九

酔 ^{すい} 芙蓉 ^{よう} ……………	飛田多恵子……………	二三〇
あした夢……………	富岡慶信……………	二三一
能登・女の朝市……………	富田有……………	二三二
アラ還世代……………	外山尚子……………	二三三
人生坂……………	豊岡敏……………	二三四
夢見川……………	鳥羽貞子……………	二三五
握手……………	中咲結美子……………	二三六
昭和未練唄……………	長澤あきら……………	二三七
れんげ花……………	ながた恵秋……………	二三八
お馬も人もガンバレ!ガンバレ!……………	永田聖子……………	二三九
「デカンショ」の故郷 ^{ふるさと} ……………	長塚京子……………	二四〇
そこがいのよ 私には……………	那須野巖……………	二四一
役者ばか……………	難波伸安……………	二四二
陶酔 ^め く愛に溺れて……………	仁井谷俊也……………	二四三
瞳 ^め を閉じて……………	西しょうご……………	二四四
母の宝物……………	西井戸学……………	二四五
未練節……………	西田ただすけ……………	二四六
兄貴風……………	西谷千晶……………	二四七
まわり灯籠……………	西原孝夫……………	二四八
絆坂……………	西平としこ……………	二四九
富士の山……………	西山和風……………	二五〇
女房 ^{おまへ} の寝顔……………	西脇照芳……………	二五一
逢えてよかった……………	西脇求……………	二五二
誠一筋 金次郎……………	沼田落葉……………	二五三
中房総 ふたり旅……………	NO MOS……………	二五四
愛すればこそ……………	野沢冬子……………	二五五
女の夢灯り……………	のせよしあき……………	二五六

釧路の灯り	のべひろし	二五七
夫婦傘	羽澤文子	二五八
冬の貝殻	橋本和郎	二五九
のぞみ	橋本真寿美	二六〇
指の涙	長谷川諭吉	二六一
男の海だ（大洗編）	ハチャン・K	二六二
越中おわら 恋の唄	はつとり せいこ	二六三
童謡「ポンチョのうた」	ハマ・イチロー	二六四
面影酒	林伸	二六五
姉子泣き砂	林利紀	二六六
大隈物語	原伸二	二六七
友情	原文彦	二六八
運命	原夕実	二六九
蓮華の命	美山明葉	二七〇
哀愁の宿	菱田茂子	二七一
故郷は 今	肥田晃輔	二七二
老友と語る 心の声	平井歩果	二七三
女の旅路	平井健一	二七四
五〇年の灯り	平山貴容子	二七五
ニュー東京オリンピック音頭	風雅也	二七六
流 浪	福山しゅん	二七七
二人で力を合わせて	藤外美子	二七八
こまるのことよ	不二美風	二七九
華の鹿鳴館	藤浦譲	二八〇
逢いたい、もう一度	藤川俊治	二八一
琴平慕情	藤崎光	二八二
鎌倉ものがたり	藤村誠一	二八三

禁じられた思い出	藤本尚子	二八四
黄昏K O B E	藤本純行	二八五
抱けぬ命	藤安五月男	二八六
我が運命に 悔いはない	ふじわら弘志	二八七
夢迷子	麓霧子	二八八
雪 女	冬木ともや	二八九
京都恋しや	平誠三朗	二九〇
おしどり人生	星合節子	二九一
雪 灯	星川成一	二九二
泣かないで	梵天丸	二九三
アンドロメダ銀河	本間正成	二九四
サクラ前線	楨映二	二九五
五重塔 — 幸田露伴「五重塔」より —	真下純	二九六
媚 薬	松井眞佐子	二九七
なあ半次	松尾江里也	二九八
男の応援歌	松尾博之	二九九
彼岸花	松野捷夫	三〇〇
お天気おじさんの歌	松原高久	三〇一
波止場情話	松本撰子	三〇二
ドレスの肩紐	真庭るい	三〇三
伊良湖恋岬	丸山八留男	三〇四
蟬	まんだあつこ	三〇五
秋の風鈴	三浦節子	三〇六
行くぞ 人生桧舞台	三浦正行	三〇七
夢見たタモイ	三浦三咲貴	三〇八
涙の地平線	三浦康照	三〇九
男から女へ、女から男へ	美樹克彦	三一〇

拉致……鳥になれたら……………	美貴裕子……………	三一一
男の未練火……………	三木政和……………	三一二
鏡……………	美貴史明子……………	三一三
雪の橋……………	みきやす……………	三一四
わがふるさとは緑なり……………	みさきまさる……………	三一五
人生屏風……………	岬坊真明……………	三一六
俺ら庄助さん……………	三里こうじ……………	三一七
すいか太郎……………	三郷遙……………	三一八
奇岩海峡日本海……………	みずみ隆……………	三一九
母の讃歌……………	南早苗……………	三二〇
会津女ごころ……………	みね隆……………	三二一
雖・頑張ろう東北……………	峰八朗……………	三二二
男が泣いてもいいじゃないか……………	峰崎林二郎……………	三二三
June Bride……………	箕山しげる……………	三二四
地下鉄出口 四角い街……………	水吹有間……………	三二五
夕焼け慕情……………	宮崎のぶを……………	三二六
心に咲いた花……………	宮下敏行……………	三二七
八きん恋唄……………	宮代よしはる……………	三二八
戦争と平和……………	宮原哲夫……………	三二九
ふるさとシャッター通り……………	三好清隆……………	三三〇
四部作「新生」……………	武笠和夫……………	三三一
風よ風よ吹け……………	村上周司……………	三三二
流 転……………	村田たかお……………	三三三
幸せは茜色……………	村田るり……………	三三四
旅浴衣……………	本橋夏蘭……………	三三五
鳴子夢の宿……………	森岡ひであき……………	三三六
ふたたび ばたでん……………	矢坂秀司……………	三三七

女の終着駅……………	矢嶋	たかし……………	三三八
木の芽起こしの雨……………	矢頭	國明……………	三三九
御同輩……………	梁川	梁……………	三四〇
『僕がいるよ』……………	山甲斐	晶子……………	三四一
北恋港……………	八卷	功……………	三四二
女紅 くれな いきずな歌……………	山北	由希夫……………	三四三
花よ星よ涙よ……………	山崎	ふみえ……………	三四四
日暮れほろほろ灯るころ……………	やました	貴美……………	三四五
潮騒の宿……………	山田	孝政……………	三四六
淡き恋……………	山田	那津子……………	三四七
あなたさよならお元気で……………	山田	博康……………	三四八
故郷……………	山本	ユリエ……………	三四九
恋女房……………	結城	諒……………	三五〇
関西人の哀しい性 さが ……………	Y u k a……………		三五一
ニッポン 日本のおばあちゃんへ……………	湯川	れい子……………	三五二
思い出のリバーサイドホテル……………	ゆき	ちかげ……………	三五三
夢風車 ふうしゃ ……………	豊	浩二 こうじ ……………	三五四
私には……。私には……。	ゆら	悦子……………	三五五
忠兵衛 恋のみちゆき……………	由梨	恵子……………	三五六
夜明けのフィットネスサイト……………	横森	葉子……………	三五七
ふたり旅……………	吉田	静江……………	三五八
アラスカのサムライ　　ロンドンデリーの歌……………	吉田	すばる……………	三五九
紬の街の 風太鼓……………	吉田	とう……………	三六〇
お姑さん しゅうと も辛いのよ……………	よしだ	未来……………	三六一
踏舞 タフカル の華……………	よしむら	こう……………	三六二
復興への道……………	吉村	哲次郎……………	三六三
春夏秋冬男道……………	R	I E……………	三六四

さようなら金沢	連	達人	三六五
晩秋　ゝ恋の大和路	和香泉	有輝	三六六
荒川線	若松	かつ子	三六七
処愛(下ボフィリア)　神戸・六甲パース	和久洲	正	三六八
母さんの花火	わた	まさのり	三六九
悲恋おんな川	綿木	義昭	三七〇
二〇二〇年東京五輪　海を越えて	渡辺	蛍雪	三七一
炎のタンゴ	渡辺	久士	三七二
ありのままに　そのままに	渡部	平吾	三七三
川の町　港町	わたなべ	泰彦	三七四

題字	星野哲郎
表紙絵	里村龍一